

2015年9月吉日

虎屋 京都ギャラリー第12回企画展

北村眞一 ～洛中悠々～ 金工うつわ展

2015年10月24日（土）～11月30日（月）

金属が生み出すこちよいかたちをテーマに、日本の伝統美と現代的な感覚が融合した北村眞一の鑄金作品を展示します。蠟型鑄造（※）の技法を駆使した曲線の美しさなど心のゆとりを感じさせる作風に定評があり、地金の色や質感を生かした器と和菓子の取りあわせなど、様々な金属の造形をお楽しみください。



「蠟型朱銅金彩扁鉢」 北村眞一 写真：中村成一

【プロフィール 北村眞一（きたむらしんいち）】

昭和20年(1945)、東京都生まれ。

祖父、父ともに鑄金作家であり、幼少の頃から鑄金の世界に親しむ。

武蔵野美術大学短工卒業後、23歳で工房を継承した。

日本工芸会を中心に活躍し、伝統工芸日本金工展などで数々の賞を受賞している。

日本工芸会金工部会長。日本伝統工芸展鑑審査委員等選考委員。

※蠟型鑄造（ろうがたちゅうぞう）

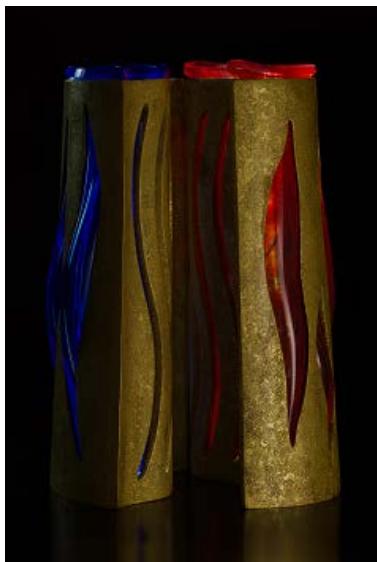
飛鳥、奈良時代から利用されてきた金属加工技法。

蠟（ろう）で作った型に、砂と粘土を混ぜた鑄型材を塗り、焼いて鑄型（いがた）を作る。溶けた金属を鑄型に注ぎ込み、冷却し型を取り除けば蠟で作った形そのままに作品が得られる。

蠟型は細工がしやすく複雑な形を作ることができ、蠟のあたたかいなめらかさが表現できる。

虎屋 京都ギャラリー第 12 回企画展

北村眞一
～洛中悠々～
金工うつわ展



蠟型鑄金銅金彩吹込硝子花器『双』 蠟型臘銀吹込金箔入硝子鉢

北村眞一 写真：中村成一

■期 間■ 2015 年 10 月 24 日（土）～11 月 30 日（月）
午前 10 時～午後 5 時
期間中休館日なし ※入場無料

■会 場■ 虎屋 京都ギャラリー
京都市上京区一条通烏丸西入広橋殿町 400
虎屋菓寮 京都一条店横
地下鉄今出川駅より徒歩約 7 分
TEL 075-431-4736

■展示品■ 北村眞一 蠟型鑄金作品 約 20 点
虎屋の和菓子（器との取り合わせ）

《本件に関するお問い合わせ》

株式会社 虎屋 京都管理部 文化事業課 担当：浅田、長谷川
〒602-0911 京都市上京区一条通烏丸西入広橋殿町 400
Tel：075-431-4736 Fax：075-431-1063
E-mail：kyotobunka@toraya-group.co.jp

www.toraya-group.co.jp/